



決断と実行。



少数与党として迎える本格的な国会第217回通常国会。予算委員としての質疑や第27回参議院議員通常選挙などのご報告です。貴重な経験、辛い経験など私にとって様々な感情が入り交じった半年間でした。今回も最後までお付き合いいただければ幸いです。

自由民主党 参議院議員 永井 学

# がく 学歩

Vol.05

GAKUFU

国政報告

国政報告  
学歩

Vol.05

GAKUFU

発行元  
永井学事務所

## Photo Gallery 活動を写真で振り返る



自由民主党山梨県参議院選挙区第二支部

**自民党 永井学事務所**

<https://nagai-manabu.jp/>

**あとがき** 今回の通常国会はとにかく予算委員理事として令和7年度の予算を年度内に上げること。そして来るべき参議院議員選挙に十分な体制で臨むことに全精力を傾注しました。党務でも副部会長やPTの事務局長を務めるなど、多くの経験をさせて頂きました。議員になって折り返しの3年が過ぎました。今回の経験を糧に新人気分を抜き、日本のため山梨のためにより深い議論をすべく更なる精進を重ねて参ります。プレることなく「決断」し「実行」していく。心新たに4年目の議員活動に全集中で取り組みます。

■国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館516号室  
電話 03-6550-0516 FAX 03-6551-0516

■甲府事務所 〒400-0034 山梨県甲府市宝2-27-5  
電話 055-267-6626 FAX 055-267-6607



(4) 船員法等の一部を改正する法律案  
船員の確保、国際条約的確な実施  
及び船員関係手続きのデジタル化

(3) 老朽化マンション等の管理及び再生の円滑化等を図るための建物の区分所有等に関する法律等の一部を改正する法律案  
マンションの新築から再生までのライフサイクル全体を見通して、管理・再生の円滑化を図る

び気候変動に対応した港湾の保全



### 予算委員会 公聴会

# 第217回通常国会

## 国土交通委員会

ターチェンジでETCが利用できなくなつた。

今年で3年目となりました国土交通委員会。今回も5本の法案審査が行われました。その中で道路法改正案について質疑を担当しました。

### (1) 道路法等の一部を改正する法律案(質疑)

令和7年度の本格的な予算審議。今回も理事として審議に参加しました。その中で3月に行われた「予算委員会公聴会」にて参考人質疑をさせて頂きました。私の担当は「二次産業、国民生活、地方」でした。

県議時代から問題意識を持つ取り組んでいた「男性の育児休暇について」、生産者から見た「米高騰問題」について質問をさせて頂きました。

「男性育休取得促進に対する公述

人の考え方

○えるばしくるみんの制度改善上

司の意識改革

○米価が高騰して本当に米農家の

皆さんは儲かっているのか

○生産性向上のための具体策

### (永井の質問)

#### 1 ETC障害について。

↓質問前日、大規模なETC障害が起き中央道を始め多くのイン

安全かつ円滑な道路交通の確保のための道路管理の更なる適正化・効率化及び道路分野における脱炭素化の推進

### 2 能登半島地震を踏まえた災害対応の深化

①道路啓開の対象となる災害時のアクセスルートの強靭化について

②道路啓開計画を策定しようとしている地方自治体の支援について

③4車線化の優先整備区域に指定されている箇所の着工基準は何か

(中部横断自動車の暫定2車線の進捗を絡めて)

### 3 道路の脱炭素化の推進

①このタイミングで道路分野の脱炭素に踏み切った理由

②道路の脱炭素に向けて関係省庁との連携が不可欠だと考えるがどのように連携していくのか(国土交

通省と環境省に質問)

③脱炭素を進めるため企業に対し何らかのインセンティブを与えるなどの取り組みが必要だと考える

がご所見を伺う

### (2) 港湾法等の一部を改正する法律案

災害時における港湾機能の確保及

今回の参議院選挙は結果として自公で改選47議席しか獲得できず、参議院でも与党が過半数を失い、日本政治では1955年以来初めて、衆参両院で非多数派となりました。衆参共に過半数を失った状態で政策を成立させるには野党との協議や政策連携が不可避な状態となりました。また山梨選挙区では、私が本部長を務め応援した森屋宏候補が敗れました。多くの皆さんにご支援を頂きながら勝利することができず残念なりませんでした。敗

### 第27回参議院議員選挙を振り返って



予算委員会  
国土交通委員会

QRコードからご覧ください。



因は様々な要素が複雑に絡み合つたものであると考えます。しっかりと総括をして前に進んで参りたいと存じます。引き続きのご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願ひします。改めましてこの度の皆様のご支援に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

